

## 競技・審判上の注意（A B C大会用）

- (1) 本大会は、令和7年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- (2) タイムテーブルは試合の順序を示しています。試合の進行は「流し込み」とします。アナウンスがあり次第、プレーヤー・コーチは体育館内の所定の場所に集合してください。なお、試合の進行状況により、コートを変更する場合がありますのでアナウンスには十分注意してください。
- (3) 試合（マッチ）が連続した場合は、原則として前のマッチが終了してから15分後に次のコールをするものとします。
- (4) 3位決定戦は行いません。
- (5) 審判は全ての試合、大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは準決勝より配置し、その他の試合においては原則としてつけません。
- (6) プレーヤーのマッチ中の服装は、（公財）日本バドミントン協会審査合格品とし、ウェア背面上部に「都道府県名、氏名」が明記されているものを必ず着用してください。なお、ゼッケンは本人確認がしっかりできるように必ず4カ所留めにしてください。チーム名やロゴについては、大会運営規程第24条に準じ、袖及び胸のいずれかに50cm<sup>2</sup>以内のものをつけることを認めます（ただし、上衣にプリントしたものも認める。）。ユニフォーム広告に係る広告（ロゴ）スポンサー名等について（令和6年4月15日）」によるものとします。また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れてください。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れてください。
- (7) コートへの入場は、主審の先導により組み合わせ番号の若番のプレーヤーから行い、退場は主審の誘導により勝者から行います。
- (8) Cグループは15点3ゲーム（ファイナルゲームは8点でチェンジエンズ）マッチで行います。スコアが14点オールになった場合、どちらかのプレーヤーが最初に2点リードするか、その後20点オールになった場合、21点目を得点したプレーヤーを勝者としします。
- (9) マッチ前の公式練習はありませんが、審判の準備が整うまでの練習を認めます。
- (10) すべてのゲーム中に、一方のプレーヤーのスコアが11点（Cグループでは8点）になった時に、60秒を超えないインターバルを、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に、120秒を超えないインターバルをとることができます。その際、主審が「（コート番号）20秒」とコールをしたら、すみやかにコート内に入ってください。また、コーチはアドバイスで同時に2人までですが、主審の「（コート番号）20秒」のコールがかかったら、すみやかにコートから離れてください。

プレーヤーはマッチ中、所定のインターバル以外に、シャトルがインプレーでない場合に限り、アドバイスを受けることができます。ただし、試合進行を妨げる（遅延行為）とみなされるものになってはいけません。
- (11) 競技フロア内での電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）の使用は一切認めません。また、電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）を用いたマッチ中のアドバイスやコーチングを禁止します。
- (12) 各エンドにあるコーチ席に着く際には、必ずIDカードを身に付けてください。許可されたインターバルを除き、指定された椅子に着席するものとし、マッチ（試合）中は、認められている移動の時以外に立ち上がったたり、立っ立ってはいけません。また、インプレー中に声を出したり、ジェスチャー等の行為をしないでください。うちわを叩いたりする行為も禁止します。なお、コーチが他のコートへ移動する際はインプレーでない時に行ってください。
- (13) コーチ席での服装等は、公認審判員規程第5条第12項により「チームユニフォーム、シャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチサンダル、バミューダ、ショートスリッパ、サンダルは禁止とする。」とします。なお、競技フロア内では必ず体育館シューズを履いてください。
- (14) プレーヤーはいかなることがあっても、体力の回復を図るためにプレーを中断してはいけません。汗ふきや靴ひもをしめなおす等、試合進行を妨げない限りでプレーを中断する時は、必ず主審の許

可を得てからすみやかに行ってください。

- (15) マッチ中の水分補給は、インターバルを除き、主審の許可が出た場合に認めます。なお、使用する容器は、水等がこぼれないようにフタやキャップが付いているものを使い、各自バッグに収納してください。
- (16) 氷のうはインターバル中のみ使用できます。プレー中は保冷器（クーラーバック）に入れ、コーチ席で保管してください。なお、コーチ席に人が着くことができない場合は主審に申し出てください。
- (17) マッチ中に発生したコート内でのケガや病気に対して、通常コート内に入ることができるのは、レフェリーが必要と認めた医療役員等に限りです。
- (18) 審判員の判定に対して疑問がある場合は、次のサービスが行われる前に、当該プレーヤーに限り、主審に質問することができます。それが、「抗議」や「異議」になっては絶対にいけません。
- (19) 観客席からの助言や指導、フラッシュ撮影など、マッチの進行に支障があると思われる行為やマナーに反する行為を禁止します。

## 一 般 注 意 事 項

- (1) マエダアリーナおよびカクヒログループスーパーアリーナの館内でのウォーミングアップ・ランニング等は禁止です。
- (2) マエダアリーナおよびカクヒログループスーパーアリーナの観覧席までは上履き不要です。
- (3) 観覧席は地区ブロックごとに場所を指定(表示)してありますので、マナーを守ってご利用ください。なお、盗難事故が多発しておりますので、各自、貴重品等の管理をお願いします。
- (4) ゴミは各自持ち帰るようにお願いします。
- (5) 各会場での応援席は、マエダアリーナのメイン会場の2階客席アリーナ側前2列、マエダアリーナのサブ会場は2階ガラス張り全席、カクヒログループスーパーアリーナ2階客席アリーナ側前2列としますので、占有しないようにしてください。

## 《熱中症予防に関して》

- (1) 競技中の水分補給は両会場とも随時認めます（ただし主審の許可を得たときに限ります）。審判員・競技役員にも徹底させます。
- (2) マエダアリーナおよびカクヒログループスーパーアリーナにおいて、館内の湿度・温度を常に監視して空調（冷房）の実施または換気を行います。マエダアリーナのロビーは空調を完備していないので、館内の状況を常に把握して換気等呼びかけます。
- (3) 医療役員（看護師）をマエダアリーナおよびカクヒログループスーパーアリーナの各会場本部席に1名以上常時駐在させます。

## 《食中毒予防に関して》

- (1) こまめな手洗い、手の消毒をしてください。消毒液は会場内に設置してありますが、各人においてもご準備してください。特に、食前の手洗い、手の消毒等を心掛けてください。
- (2) お弁当は早めに召し上がるように心掛けてください。食中毒菌が繁殖しやすい温度（約20℃～50℃）に置く時間を極力短くすることが大切です。